



「2023松江水郷祭」

の開催

観光振興課

松江水郷祭の現状と課題

- ✓ 花火大会の必要経費が増大しています。
- ✓ 従来と同規模の松江水郷祭を開催する場合でも、最低3,000万円程度の経費増加が見込まれます。

花火打上経費(台船経費除く)

※2019年と同じ発数(13,000発)で試算

2019年:2,370万円 ⇒ 2023年見込:3,560万円

花火製造原価が高騰

約1.5倍



衛生費(ゴミ・トイレ)

2019年:449万円 ⇒ 2023年見込:830万円

人件費・物価が上昇

約1.8倍



警備費(警備員経費)

2019年:905万円 ⇒ 2023年見込:2,349万円

単価上昇・安全対策強化

約2.6倍



持続可能な花火大会へ

物価高騰や長引くコロナ禍による企業業績の低迷などにより、これまでの企業協賛・市財政・募金に頼る仕組みでは継続が困難です。

これまでの仕組みを見直すべき時期に来ています。



<新たな運営モデルの検討>

- ✓ 「水の都・松江」のユニークな花火の価値に着目
- ✓ 有料観覧席の拡大により、安定的な財源を確保



企業協賛・市財政のみに依存せず、

将来にわたって持続可能な花火大会へ



松江水郷祭による地域活性化

<人口減少等の課題解決に向けた地域の活性化>

○観光は松江の主要産業であり波及効果大きい

⇒ 地域経済の好循環・活性化、雇用創出

○観光客からの高評価 ⇒ 市民の誇り・郷土愛 ⇒ 定住・移住・交流促進



☆2030年の将来像「世界中から松江に人が集まる」の実現へ
「MATSUE観光戦略プラン」に基づく戦略的チャレンジ

○松江水郷祭は「水の都・松江」が誇る・歴史ある「市民のためのお祭り」

○松江水郷祭を全国に誇れる・国内外から注目される祭りへと展開



☆花火の拡充・魅力向上

「水の都・松江」の知名度向上・ブランドカアップ

2023年収支予算のイメージ

(※) 3月に開催されたワークショップの説明資料
(松江水郷祭推進会議 作成)より抜粋

<2日間・花火2万発を想定した収支イメージ>

【2023収支イメージ】

〈支出〉		〈収入〉		(単位：千円)
①花火打上費	82,000	①市補助金	17,000	
②警備費	27,600	②企業協賛	50,000	
③広告宣伝費	16,100	③一般募金	1,500	
④衛生費	8,300	④有料席収益	72,500	
⑤イベント費	5,700	⑤その他	6,800	
⑥その他	8,100			
合計	147,800	合計	147,800	

○花火の拡充、物価高騰、イベント・屋台の復活により支出が増加

2022年 87,000千円
→2023年 147,800千円

○有料観覧席の設定により財源を確保

販売収入 125,000千円
設置費用 52,500千円
収益 72,500千円

<販売収入内訳>

一般席 9,150席×@ 5,500円×2日間
特別席 930席×@13,100円×2日間

※収支は現時点のイメージであり、変更になることがあります。

※「支出」に有料観覧席の設置費用は含まれておりません。「収入」に見込まれる収益を記載しています。

ワークショップ（説明会）の開催実績

松江水郷祭推進会議では、「2023松江水郷祭」の概要をお知らせし、市民の皆様のご意見を伺う機会を設けてまいりました。

○概要資料による説明・意見交換

2022年12月13日	川津公民館（松東ブロック）
12月14日	城西公民館（中央ブロック）
12月15日	玉湯公民館（湖南ブロック）
12月16日	法吉公民館（松北ブロック）
12月20日	八雲公民館（松南ブロック）

【対象】
公民館・町内会・
自治会の代表者

○詳細資料による説明・意見交換

2023年 3月17日	市民活動センター
3月18日	市民活動センター

【対象】
一般公募+前回参加者

○郵送・メール等による意見募集 2022年11月25日～12月24日

※ワークショップの説明資料は、[松江水郷祭ホームページ](#)



にて公開中

「2023松江水郷祭」の概要

開催日：8月5日(土)・6日(日)



① 2日間にわたり見ごたえのある花火

- ・各日：10,000発
(2日間合計20,000発)
- ・ワイドに打ち上がる演出

② 有料観覧席の増設

- ・各日：10,000席程度
(2日間合計20,000席程度)



「2023松江水郷祭」は国土交通省・島根県・警察署などの協力の下、社会実験として開催。その効果を検証し来年度以降の開催内容に反映。

観覧席の位置(予定)

☆湖北エリア【有料】
屋台の雰囲気を楽しみながらダイナミックな花火が楽しめます。

2023年花火打上げ位置(案)

☆湖南エリア【有料】
穴道湖のロケーションを生かしたワイドに打ち上げる演出が観覧できます。

2022年打上げ位置

☆白潟エリア【有料】
JR松江駅から近いエリアで、湖面に映える水中花火を間近で体験できます。

○自由観覧エリア【無料】
打上げ台船の増設により、間近に観覧できるエリアが広がります。



湖岸の一部は工事のため立入禁止

2023松江水郷祭 新庁舎テラスの利活用

2023年7月からの「**新庁舎みんなのトライアル**」(新庁舎を実際に活用し賑わいの創出方法を検討)の取組の一つとして、新庁舎での水郷祭の楽しみ方・課題などを検証するため、**市民などのモニターを公募・招待**

1. 公募・招待内容 「**一般公募タイプ**」「**新庁舎応援タイプ**」の2種類

一般公募タイプ

松江市民を対象として、カテゴリーごとに枠を設け、アンケート調査のモニターを募集。**抽選**により決定

【カテゴリーの例】

- ・小学生以下のお子さんがある家族
- ・中学生、高校生、大学生(若者)
- ・65歳以上の方(高齢者)
- ・障がいのある方 など



新庁舎応援タイプ

新庁舎のPR活動に協力いただいた方や、情報発信力のある方をモニターとして**招待**(市民以外も対象)

【PR活動への協力の例】

- ・新庁舎テラス愛称コンテスト各賞受賞者
- ・新庁舎フォトコンテスト各賞受賞者
 - ※いずれも5~6月に開催予定
- ・一定数のSNSフォロワーがいる方 など
 - ※公募のうえで選定



2. 募集人数

公募方法と合わせて検討

3. 観覧場所

新庁舎テラス2・3・4階

4. 応募条件

本市が行うアンケート調査への協力

5. 観覧料金

無料（調査目的のため）

6. スケジュール（予定）

5月中旬 公募方法決定

6月上旬 一般公募タイプ モニター募集開始

7月上旬 一般公募タイプ モニター決定

7月中旬 新庁舎応援タイプ モニター決定



2023 松江水郷祭

新庁舎テラスの利活用方法についてのお問い合わせ

財政部 新庁舎整備課
TEL 0852-55-5454



今後のスケジュール

- 5月8日 松江水郷祭推進会議 総会
（「2023松江水郷祭」の開催内容を決定）
- 6月頃（予定） 有料観覧席の市民先行販売
- 7月頃（予定） 有料観覧席の一般販売
- 8月5・6日 2023松江水郷祭 開催

「2023松江水郷祭」の概要はコチラ

⇒ [松江水郷祭ホームページ](#)

松江水郷祭

検索

⇒ お問い合わせ先：松江水郷祭推進会議

TEL 0852-32-0504



<QRコード>